

# 力障連「わ」

日本カトリック障害者連絡協議会会報 No.73

## 教皇フランシスコのことば

教会は、病者の皆様の中に、苦しんでいるキリストの姿をとりわけ見いだします。そうです。わたしたちの苦しみのかたわらには、そしてまさにそのただ中には、苦しんでいるキリストがおられます。キリストはわたしたちとともに苦しみという重荷を背負い、その意味を明らかにしてくださいます。神の子は十字架につけられたとき、苦しみに伴う孤独を打ち破り、その闇を照らしました。それゆえに、わたしたちは、自分たちのために行われた神の愛の神秘に向き合うことができます。その神秘はわたしたちに希望と勇気をもたらします。希望。神の愛のご計画の中では、苦しみの夜も復活の光に屈するから希望がもたらされるのです。そして勇気。勇気があるからこそ、わたしたちはあらゆる苦境にもキリストとともに、キリストと一つになって向き合うことができます。

(2014年 世界病者の日のメッセージより)

## もく じ ク

一ワーキンググループ(作業班)を通して一

11 力障連って何… どうか支えてください

12 【ショートエッセイ】 キリストの体について

佐藤 仁彦

# 私たちの存在は主の福音の証し

会長 宮永 久人

2013年12月4日、参議院本会議で障害者権利条約の批准が承認され、今年2月19日に発効されました。条約では障害者の人権や基本的自由の享有を確保し、障害者の固有の尊厳の尊重を促進するため、障害者の権利を実現するための合理的配慮を含めた措置などが規定されています。これに先立ち、障害者基本法の改正、障害者虐待防止法や障害者差別解消法の成立といった国内障害者法制の整備がなされました。

しかし、障害者の権利を保障する方向へ向かいつつある一方で、血液検査による出生前診断が普及しつつあり、尊厳死法(事実上の安楽死法)を制定しようとする動きもあります。社会保障費・医療費を削減するためにも、重度の障害者をできるかぎり排除し、軽度の障害者のみに生きる権利を与えるという選別の方向、すなわち優生思想の強化に向かっていると言わざるをえません。このことは今日の国際競争の激化を背景にした一連の弱肉強食の政策の推進、相互扶助的な社会の破壊を抜きには説明できません。これらの社会の動向に対し、日本の司教団には、障害者・病者への主イエスのまなざしを思い起こしていただき、その時々に強いメッセージを出していただきたいと願っています。また、この9月の研修セミナーではこれらをテーマとして取りあげます。

これまで、主の御名のもとに結ばれた各地の障害者をつないでいくため、ほうぼうを巡っています。また、私たち役員のひとりが難病者団体の理事長を務めている関係上、難病者の指定範囲を広げるための署名にも協力してきました。

次の大会は、来年札幌で開催されますが、今年10月のプレ大会のテーマのとおり、多くの はうがいしゃ びょうしゃ しゅ しょくたく まね さいか 訪れることを祈りつつ、札幌教区の実行委員会 を支援してきています。

私たちは各自の歩みの中で、主と出会い、主のみことばを受け入れ、主の癒しのみ業を信じています。主の癒しのみ業のメッセージは、障害があっても、いやむしろ障害があるからこそ神によって生かされ、神に愛されているのではないでしょうか。私たちは自らの存在をとおして、主の福音を証ししているのです。

私たちが自ら信じた主の福音、盲人の癒しの物語に記された「神の業」(ヨハネ9・3)を、ともにのべ伝え、また私たちもそれを生きることができますように。それをとおして、この社会の逆風に立ち向かっていくことができますように。

皆さんにお願いがあります。私たちカ障連は、障害者ひとりひとりが福音をとおしてつながり、連帯するために働いています。その活動を続けていくためにも、皆さんの祈りとともに、活動資金が必要です。皆さんの寄付のご協力をお願いします。

## 力障連加盟団体意見交換会が開催されました

事務局長 田中 実

今年もカ障連加盟団体意見交換会が、3月15日(土)午後に日本カトリック会館で開催されました。ご出席の皆さまありがとうございます。加盟団体を中心に9団体、カ障連役員を含めた出席者は30人でした。年一度の加盟団体意見交換会です。開催の目的は何ですか?どのような成果を期待しますか? 準備段階においてかなり意見が分かれました。

実質的な所要時間は3時間半でした。その後にごミサ及び食事会も予定していましたので、かなり制約された時間配分となりました。十分な意見交換にならなかったことについては、事務局が代表してお詫び致します。今後、どのような形で加盟団体及び会の皆さんの貴重な意見を受け止めていくかについて改めてご提案させていただきます。

かき いけんこうかんかい おも ないよう しょうかいいた 下記に、意見交換会の主な内容をご紹介致します。

### 【力障連本部の報告より】

① 2015年カ障連札幌大会に向けての準備をしっかり行います。大会準備状況は札幌実行委員会から報告がありました。順調に進んでいます。

をうかい なごゃたいかい はんせい じゅうぶん ふ けんとう すす 総会については、名古屋大会の反省を十分に踏まえ検討を進めています。

② 力障連規約の補足検討

会員資格と総会議決の実態は、規約と乖離している要素がありますので、2014年度は改正案をしっかり練り、札幌大会総会に向けて準備を進めていきます。

③ 会計状況

2013年度カ障連独自で寄付を集めた収入は120万円です。前年まで「カ障連を支える会」からいただいてきた収入は180万円です。財政的にはかなり厳しい局面に立っていますので、予算の見直しをはかっています。

## かくか めいだんたい みな いけん 【各加盟団体の皆さんからの意見】

- ① 役員の選出方法は、30年間やってきて、今まで疑問が出なかったのか?
- ② 加盟団体が参加する会合の時に、互いに意見を出しあって役員を推薦したらいい。
- ③ カ障連の脱皮に向けて応援したい(札幌大会に参加したい気持ち)。
- ④ 初期のころは、個人会員は認められなかった。色々変化があって今がある。
- ⑤ カ障連は、様々な障がい者が集まり、話しあい、語りあい、見つめあうことが大切。
- ⑥ これまでは活動に重点が置かれた。障がいを持つ人は活動に参加しにくい面がある。
- ⑦ 名古屋大会総会時の〈あいまいさ〉は課題だが、全国大会はみんなが集まることが大切。みんな かっき が集まると活気づく。カ障連は全国大会によって支えられている。
- ® 加盟団体の意見交換会をもっと行い、大切にすること。カ障連はまとめ役に徹するべき。
- ② カ障連の運営については、役員会だけでは駄目。加入団体の意見交換会等から知恵をもらい、絞るほうが良い。

⑩ 教会で全国の仲間と交流したい。カ障連に交通整理をしてほしい。

会議後半は、各加盟団体から現状活動状況と課題などが報告されました。時間が制約され、加盟団体の報告については十分な意見交換ができませんでした。申し訳なく思います。その後の、潮見教会、小林祥二神父さま司式のごミサと参加者による食事会は、信仰の恵みのなかで心を一つにできた時間になりました。以上、簡略な報告になりましたが、今後ともよろしくお願い致します。

しょうれん か めいだんたい しょうかい く力障連加盟団体の紹介〉

## <さいたま教区共愛会>

共愛会は、群馬県でカ障連全国大会を開催する準備のために、さいたま教区全体で集まりをしているうちに1998年「さいたま教区障がい者連絡協議会」(通称 共愛会)として創立されました。それまでは1984年に創立した「群馬カトリック身障者グループ」がありましたが、共愛会を設立したことにより、群馬県だけでなく、他県(埼玉、栃木、茨城)の各地区からも会員が飛躍的に増え、大きな共同体になりました。

『障がいを持つ人と持たない人が、共に神の子として力を合わせ、み旨に応えることのできる共同体はってんに発展していくことを期する(会則)』これが共愛会の目的です。

共愛会設立により、エレベーターやスロープ、トイレの設置等、教会のバリアフリー化も進みました。物質的な面だけでなく、障がい者が教会の中で不自由なく、ともに祈り、ともに神の国を目指して歩むためには、周囲の協力とサポートが必要です。私たちはみんな主のもとにひとつとなっていくためにあらゆる活動を行い、教会全体が共に愛し合う「共愛会」でありたいと願っています。

共愛会の活動には、年2回のさいたま教区内の教会を訪問しての交流会と、11月の軽井沢にあるクララ会修道院での1泊2日の黙想会があります。交流会と黙想会を通して会員間の相互理解と親睦を深めています。そのために新しい障がい者との出会いがあり、新規会員の申込みもあって、会員数約600名を維持しています。会費だけを納めていても、どのような活動を行っているか知らない方は、からします。であり、からして表しています。会費だけを納めていても、どのような活動を行っているか知らない方は、からして、交流会がきっかけで初めて知ったということが多くありました。ミサで視覚障がい者が聖しまるうと、手話通訳やPC通訳を初めて目にしたという方も。

さいたま教区は静かな地方や自然に恵まれたところが多く、そのためか、会員はお互い家族のように暖かな雰囲気のうちにあり、どこに行っても楽しく、障がいを持っていてもいなくても、みんな神様のもとにひとつになっていくような豊かさがあります。そこに大きな原動力があると思います。

「共愛会ニュース」を年4回発行し、会員の他に各小教区や団体宛に、会の活動や会員の声を届けています。

4

# 疲れやすく時々転覆の障害:<オリーブの会>

## 《成り立ちと、主な変遷》

1981. (聖) ヨハネ・パウロ2世の来日の時、広島・長崎での世界平和の祈りとともに障害者の手をとって祝別、心に炎を打してくださったことが、翌年のカ障連誕生の源となった。このことを忘れずに語り継いでいきたい。

1998. カ障連情報センターに、精神障害の当事者、家族からの相談多数。

1999. 名古屋の精神障害当事者、家族による提案と準備会が始まる。

1999. 9. 「第1回カトリック精神障害者の集い」東京 真生会館にて (当事者15名、家族26名、スロイテル師・故中原えみ子会長・スタッフ10名)。

12. 「カトリック精神障害者の交流会」当事者のみ11名。この席上、心の平和と希望を願いてオリーブの会」と命名。偶数月第3日曜午後を定例会と決定。

2000. 7. カ障連・高崎大会にて「オリーブの会」が加盟団体となる。

2002. 9. 講演会「精神の病:発病と受け入れ方」講師:山田光彦医師(40名)。

2004. 6. 講演会「障害を受け入れながら生きる道」塩田泉神父、村田隆泰氏 (100名)。

2005.12. 病人の回復なる聖母マリアのミニ巡礼開催。岡田武夫大司教指導。

2008. 2. 「世界病者の日」のミサ後にオリーブの会の活動について発表。

4. 講演会「かけがえのないあなた~こころの病と向き合う~」森一弘司教。

#### ゕ゚くち 《各地のオリーブの会》

- 2001. 「オリーブの会」九州の集い(全国から71名) 名古屋オリーブの会

2002. みちのくオリーブの会

2006. オリーブの会千葉

2007. 横浜オリーブの会

2008. さいたまオリーブの会

## もくそうかい 《黙想会》

渡れやすい障害のため、横になっていても0Kで始められた黙想会は、2003年からほぼ毎年、午後はんにち おこな こうきけいじしん ま しどう おもの半日に行われる。小宇佐敬二神父の指導が主であるが、Sr. アグネーゼ・デーケン、英隆一朗神父、あるなかまるしん ま きょうりょく 阿部仲麻呂神父のご協力も。

#### 《ごあんない》

かいさい び ぐうすうづき だい にちょう び がつ にち せかいびょうしゃ ひ ごご じ じ・ 開催日: 偶数月の第2日曜日 (2月は11日の「世界病者の日」) 午後2時~4時

・場 所: 東京 四ッ谷 幼 きイエス会 (ニコラ・バレ)

・年会費: 1,000円(通信費、会場費、力障連参加費、講師謝礼など)

・機関紙: 「オリーブ」を1~2 年に一度発行

・事務局: 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-16-6 吉田久枝 方

TEL: 090-1408-1591 吉田 TEL&FAX: 042-480-7566 西村

# サッポロ使り

に対 とも あゅ さっぽろたいかいじっこう い いんかい じ む きょくち きく ち ひではる 障がいと共に歩む札幌大会実行委員会 事務局長 菊地 秀治

札幌はライラックの季節も過ぎ、木々の葉も日毎緑が濃くなり、待ちに待った夏を迎える頃となりました。

【ライラック(別名:リラ・ムラサキハシドイ)】は初夏を代表する札幌の花。1890年(明治23年)、スミス女学校(現 北星学園)の創始者サラ・C・スミス女史が、故郷アメリカから携えてきたそうで、その木は北大付属植物園に現存しています。1960年(昭和35年)には札幌の木として選ばれ、市民にもっとも親しまれている花です。ムラサキ色をはじめ、白やピンクなどの可憐な花が、ほのかな甘い香りとともに札幌に夏の訪れを告げてくれます。この花が終わる頃、札幌は【YOSAKOIソーラン祭り】で熱気に溢



れます。YOSAKOIソーラン祭りは、高知県の「よさこい祭り」をルーツに1992年、よさこい祭りの「鳴子」と北海道民謡「ソーラン節」をミックスして誕生しました。いまや、約3万人の参加者と約200万人の観客が集まり、全国はもとより、台湾・ブラジル・ロシア・アメリカなど、海外からの参加もある国際的イベントにまで成長しました。今年は6月4日~8日の5日間、270チームが参加、札幌市ないかくしょになった。 かんきゃく ありょう しました。この熱気さめぬうちに迎えるのが、市民によっぽろ祭り】として親しまれている北海道神宮例祭。100年以上の歴史があり、「神典渡御」(今年



は6月16日)では、色とりどりの平均のは、色とりどりの平均の大きな物を彷彿とさせるな数をまとった1000人以上の市市を数をまとった1000人以上の市市を表したが、北海道神宮の神様をのせた4基に市内を練り歩きます。さっぽろ祭りが終わる頃、北国は夏本番を迎えます。

このように、5月下旬から6月

中旬まで、札幌は身も心も夏に向かってフィーバーする季節なんです。よく北海道は梅雨がないと言われるのですが、近年この時期は曇天続きも多く、北海道の人は【蝦夷梅雨】と呼んでいます。それでも本州とは違い長期に渡って雨が降ることはありません。快晴の日は30℃近くまで気温上昇する日もありますが、湿度が低い北海道は暑さも実に爽やかです。

さて、街の熱気に我々実行委員会も負けてはいられません(笑)。エファッタ第3号の発送を終え、
げんざい がっ にち にち おこな
現在は7月13日(日)に行われる【ボランティア(サポーター)研修会】の準備を進めております。第
1回目は「障がいの理解と会場の理解」と題して、札幌大会会場となる「藤女子大学」をお借りし

て開催します。場崎洋当実行委員会担当司祭の「労働と奉仕 ~聖書に基づいて~」と題する基調講演のあと、グループで分かち合いを行います。また、会場の構造や設備を見学・確認したり、懇親会場での飲食、ミサ会場設営撤収なども体験しながら本番のイメージトレーニングも行います。この研修会には各小教区から「教会が障がいとどう向き合うか、これを機に勉強していきたい」という参加希望も多く寄せられており、大会サポーターという枠を超えての動きになりそうです。

札幌司教区は北海道という広大な土地ゆえ、札幌地区(20教会)、旭川地区(16教会)、函館地区(7教会)、釧路地区(9教会)、苫小牧地区(7教会)、北見地区(5教会)と、6つの地区に分かれております。このうち札幌地区では2014年度の宣教司牧評議会の重点目標の一つとして「カ障連札幌大会への支援」が掲げられ、地区使徒職大会のテーマを「(仮)教会は障がいとどう向き合うか」とし、カ障連田中実事務局長を迎えて9月28日に開催されるほか、年間を通して各小教区が取り組むこととなり、我々実行委員会としても今後さまざまな場面でかかわりを深めていきたいと思っております。もちろん、札幌地区以外への訪問活動も積極的に行いながら、カ障連札幌大会に向けて

の基盤作りと、大会後も意識や活動が続いていくようムーブメントを作っていきたいと思っております。

10月26日(日)は、来年行われる札 (日) は、来年行われる札 (根大会を前に、道内信徒を対象とした【プレ大会】を予定しています。テーマは 「(仮)主の食卓に招かれたものは幸い」、 げんざいき かくないよう けんとうちゅう 現在企画内容を検討中です。受け入れ きっぽろたいかい そうてい や応対など、来年の札幌大会を想定して



2014. 5. 24 実行委員会風景

の実践形式で、我々実行委員会にとっては非常に重要な布石となります。一方、来年の札幌大会に向けて力障連との企画協議も同時に始まります。我々実行委員会はいよいよ佳境を迎える訳ですが、 またく まお かたがた えがお むか たいと思いま できるよう、実行委員一同精一杯努力していきたいと思います。どうぞ皆様、お祈りで我々を支えてくださいますよう、よろしくお願いいたします。

ホームページ: https://sites.google.com/site/sapporoksr/home

ブログ: http://sapporocsr2015.blogspot.jp/

## 「障害者権利条約、障害者差別解消法、そして尊厳死法案」

DPI日本会議事務局次長 今村 登

障害者差別解消法などの国内法の整備を経て、2014年1月20日、ついに日本も141番目の障害者権利条約批准国となり、いよいよ障害者制度改革も第2ラウンドへと踏み出した。日本の批准に至るプロセスは国内外での評価も高い。しかし条約の批准と現在の国内法があれば、自ずと条約の目指すところの「他の者(障害のない人)との平等」「医学モデルから社会モデルへ」「誰も排除しない・されないインクルーシブ社会」が実現するなどということはない。

私は「原発は差別の象徴」と言う京都大学の こいでひろあきじょきょう ことば きょうかん つねづね さべつ しょうちょう 小出裕章助教の言葉に共感し、常々「差別の象徴 である原発をやめられない国に、障害者差別を 禁止する法律などできない」、「障害者差別を禁 し はうりっ 止する法律のできない国に、原発はやめられな い」と発言し続けてきた。この視点にはそれな りに自信があっただけに、あの3.11による福島 第一原発の大事故を経験し、いまだ収束の目途 すらついていないにもかかわらず、原発の再稼 とう しんそうせつ かいがいゆしゅつ すいしん げんせいけん りっけん 働、新増設、海外輸出を推進する現政権。立憲 <sup>しゅぎ みんしゅしゅぎ</sup> じんけん 主義、民主主義と人権をないがしろにしかねな ないよう けんぽうかいてい む い内容の憲法改定に向けて「秘密保護法」、「日 ほんばん しゅうだんてき じ えいけんようにん 本版NSC」、「集団的自衛権容認」など、世界各国 からも懸念の声が上がるほど極端に右傾化した 明んせいけん もと しょうがいしゃ さべつかいしょうほう ぜんかいいっち 現政権の下で、障害者差別解消法が全会一致で せいりつ こくれん しょうがいしゃけん り じょうやく ひ じゅん 成立し、国連の障害者権利条約も批准されたこ とは、嬉しい誤算ではあるが不思議でならない。 さらに「尊厳死の法制化」への動きにも拍車が かかってきている。

どうも実は条約も法律も、その趣旨をきちんりた性権利した上での賛成とは言い難いほど、「権利の主体」ではなく、まだまだ「保護の客体」ではなく、まだまだ「保護の客体」ではなく、まだまだ「保護の客体」ではなく、まだまだ「保護の客体」ではなく、まだまだ「保護の客体」ではない。 またのではないかとの思いを抱いている。 そしてはないかとの思いないはないないなどがにはないなどではないなどではないから運動がおもいは、我に「自己選択、自己選択、自己決定の最ものとは、またの思いとは、またのではないない。 ではないないには、またの思いは、またしている。 そものではないないまま、が注目され、多くの問題にないまま、出速な法制化の動きがは、またものでよいがないまま、出速な法制化の表には、は別物では、またないまま、出速な法制化の表には、な法制化には、な法制化には、な法制化には、な法が表にないまま、出速な法制化にないまま、たちが失い。

相手が自然だろうが神の領域だろうが、人間の英知で抑え込むことができるという考えが行き過ぎると、そこに多様性や差異の尊重だとかまた。 まらまなという発想は薄らいでいく。しかし克服できることないと気づいた時、引き続きその挑戦が許されるかどうかは、結局お金を生むかどうかで判断されようとしているのではないだろうか。

「ある社会が、その構成員のいくらかの人々を閉め出すような場合、それは弱くもろい社会である」。これは、1979(昭和54)年に国連総会で決議された国際障害者年行動計画の一文だ。それから30年を経て誕生した障害者権利条約を、市民のメルクマールにしていきたいものである。

#### 第12回研修セミナーのお知らせ 力障連

# 神の光を求めてともに歩む

しょうがいしゃけん りじょうゃく しょうがいしゃ きゃくっかいしょうほう そんげん しほうあんくテーマ〉 障害者権利条約、障害者差別解消法、そして尊厳死法案

こっかい ぜんかいいっち じつげん じょうやく ひじゅん ほうりつ せいてい ほんらい けんり しゅたい みと 国会において全会一致で実現した条約の批准も法律の制定も、本来の「権利の主体」が認められ たのではなく、実は「障害者は不幸で可哀そう」という「保護の客体」的思考が色濃く残っていた。 だから21世紀に入って初の人権条約を批准した同じ政権が、条約の趣旨とは相容れない政策を次々 と打ち出してくるのではないか。

はつだいしゃ いまむら のぼる にほんかいぎ じ む きば じちょう 発題者:今村 登 (DPI日本会議 事務局次長)

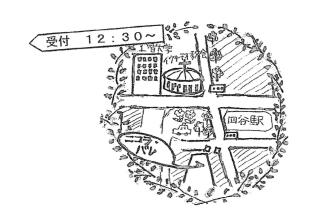
日 時: 2014年9月14日(日) 午後1時~4時

場所: 物きイエス会(ニコラ・バレ)

電話: 03-3261-0825

住 所: 東京都千代田区六番町14-4

JR四ツ谷駅 麹町口から徒歩2分



<発題者プロフィール>

## いまむら のぼる **今村 登**

1964年 長野県飯田市出身。1988年順天堂大学体育学部を卒業後、日産 スポーツプラザ(株)に入社。1993年に不慮の事故にて頸髄を損傷し、 以来電動車いすユーザーとなる。職場復帰は叶わず、1997年に東京都江 とがわく けんちく 戸川区に建築された民間のバリアフリー賃貸マンションに入居。同年、有 限会社を設立し舞台製作などの事業に従事。1999年に3か月間の渡米生活 うな障害があっても自分の住みたい地域で自立生活を送れるようにする事」を目指し、NPO法人自立 せいかつ 生活センターSTEPえどがわを設立し、事務局長に就任。



けんざい とうきょうと じりつしえんきょうぎ かいいいん ふくだいひょう にほんかいぎ じむきょくじちょう とうほくかんとうだいしんさいしょうがいしゃ現在、東京都自立支援協議会委員、JIL副代表、DPI日本会議事務局次長、東北関東大震災障害者 ಕゅうえんほん ぶ こうほうたんとうとう けんにん しょうがいしゃ じ りっせいかつうんどう つう み もんだい き くち た ぶんゃ 救援本部広報担当等を兼任。障害者の自立生活運動を通じて見えてきた問題を切り口に、他の分野 もんだいてん きょうつうてん みいだ た た ぶんや ひとびと の問題点との共通点を見出し、他(多)分野の人々とのつながりを作っていく活動も手掛け始めて いる。

ため さい にほん しょうがいしゃれんらくきょう ぎょかい 主 催:日本カトリック障害者連絡協議会

#ルムらくさき 連絡先:〒112-0014 東京都文京区関口 3-16-15 東京カリタスの家 吉田 久枝

電話: 090-1408-1591 E-mail: h-yoshida@rf7.so-net.ne.jp

# 「防災・減災」を切り口に 一ワーキンググループ(作業班)を通して一

カ障連役員会では、名古屋大会で掲げた目標 を具体的に実現していくために、数名ずつのワーキンググループ(作業班)を作り、取り組み を始めています。今号では「災害対応」作業班 についてご紹介しましょう。

広い視野での体系的な取り組みと同時に、作 をようはな 業班では、被災した力障連会員、関係者に、ま ず、震災時の体験の聞き取りをはじめることに しました。

『一日前プロジェクト』をご存じでしょうか。
「災害の一日前に戻れるとしたら、あなたは何をしますか」と、被害に遭った人たちに質問をし、それらのエピソードを短くまとめています。

ながれた。
ながいが、ないがくなった。
ないがい、クロボル・サンザル
災害による被害を軽減するために、内閣府が実施

し、ホームページでの情報提供にとどまらず、 がくしゅうかい ざいりょう 学習会の材料として役立っているようです。

作業班では、震災時の聞き取りをまとめ、現状を把握し、課題を整理する計画を立てています。
それぞれの体験が、「津波てんでんこ」のように、
たいけん
を地域となり、地域社会で取り組んでいる防災
・減災への提言となっていくことでしょう。この作業を通して、力障連が、地域や障害を越えて、もっと互いに知り合う仲間になれるように、とも願っています。札幌大きなおはにひかえ、
をも願っています。札幌大きな来年にひかえ、
はがいたいます。人間ではいるではいかないます。人間ではいかないます。人間ではいかないます。
ともいかいます。人間ではいかないます。
ともいかいます。

## 【お願い】

FAX: 072-482-8953 E-mail: fxmichandeesu61@gmail.com

# カ障連って何… どうか支えてください

副会長 佐藤 仁彦

るくいん みみ かたむ 福音に耳を傾けると、まず語られているのは、 「神は、私たちのお父さん」だということで、そ の神の目が向けられているのは貧しい人、社会か ら外されている人だと気づかされます。弟子たち も呼ばれています。弟子は素晴らしいから呼ばれ たのではなく、イエスと同じまなざしをもつため に呼ばれている。しかし、いつの間にか、皆の目 が弟子の方に向けられるようになってしまった。 そして、今もそうだと思う。弟子とは、現在では、 しさい しゅうどうしゃ おたし こと とく しさい 司祭、修道者、私たちの事でしょう。特に司祭、 Lゅうどうしゃ ちゅうしん 修道者が中心になっていると思いますが、それは、 オオヒヒ 私たちが何らかの意味で自分をそこに投影してい るからだと思います。これは、それなりの理由が あると、私は思うのです。まず、自分を高めたい というのは自然です。それによって自分という場 を作るのでしょう。しかし、そこで止まっていた ら、社会の動きと何ら変わりません。事実、現実 はあまり変わっていないのかもしれません。それ でも、イエスの方に少しでも歩みたいのなら、社会 から外された人、貧しい人の方に目を向けなけれ ばと隠います。

だれ 誰でも、まとまったグループ、仲の良いグループ を好み、そんな教会を思い描きます。もし問題が あれば、皆苦しみ、何とか安定させようとします。 その時、問題と共に問題をもった人もいなくなり ます。そこで社会から外される人が生まれます。

問題とは何なのでしょう(コミュニティにとって)。簡単に言えば、おそらく皆と異なった人と言えるかもしれません。そのような大変さを抱えて生きる人がいます。障害を持っている人も、そういう人でしょう。障害をもった人に接し、大変さとその中に隠された素晴らしさが見えてくればよいのですが、易しいことではありません。

自分の中に、努力したり、仕事をしたり、奉仕

したりする動きが**多**少ともみられると思います。 と同時に、疲れてしまったり、元気を失ったり、何 もする気にならなかったり、虚しくなったりする動 きもあると思います。皆、力のある方がよいと思 って、そちらに行きます。その時でも、神に祈る すば ことは素晴らしい。でも、実は様々な場面で、自分 が神になっているという事に気づかされます。自慢 や競争がその表れです。後者の方は、とても辛い かみ たす ねが かぎ ほんとう かみ ので神の助けをどこか願う。その限り、本当に神 を見ていることになります。人生のはじめ(誕生) と終わり(老年)は、無力の中に置かれ、その中間 で、人それぞれに力と才能などが与えられます。 そして、後者の意義はふつう忘れられています。 しかし、神の方からみれば、より大切なのは後者 の方。もちろん力がなければ生きてゆけません。 りょうしゃ ひつよう かみ じっ あたま もんだい それで両者は必要です。神のことは実に頭の問題 ではなく、一日の中で、両者を味わうのですが、 現実的に、どちらに重心が置かれているかが問わ れることで、それを見ることが大切だと思います。

教会も同じことでしょう。安定を求めすぎれば、
かみ のまなざしは失われ、また弱さの方だけに行け
ば、やはりつぶれてしまう。 両者は必要で、行ったり来たりする。これが必要と思います。 障害をもった人は、弱さを引き受けて生きている人たちで、社会にも教会にも意義ある人たちです。それは、福音の中で、一匹の失われた羊、放蕩息子、
ことがいる。これがないたか、大きないる人たちです。それは、福音の中で、一匹の失われた羊、放蕩息子、

全国的に、障害をもった人、外された人の方に熱いまなざしを向けようと、そんな思いをもった人たちが集まり、手を結び、その目には見えない意義を謳い、分かち合い、祈る集いが力障連です。どうかそのために継続して支えて頂ければありがたいです。

価

〇 〇 円

【ショートエッセイ】

## キリストの体について

英 隆一朗

かいしさい こうじまちきょうかいじょにん しさい しょうれんきょうりょく しさい (イエズス会司祭、麹町教会助任司祭、カ障連協力司祭)

たず もくそう いぇ す もくそう しどうちゅうしん しごと 静かな黙想の家に住み、黙想指導中心の仕事をしていた。ところが、この4月から転勤 になり、今度は大都会の真ん中に住み、ものすごく大勢の信者のいる教会で働くことにな った。いろいろな意味でカルチャーショックを受けている。この教会では活動グループだ けで70くらいはあるだろう。私が直接担当しているものは20グループ以上だろう(自分で も把握しきれていない)。まだ各グループの代表の顔と名前を全部覚えることができない。 そういうグループに属していない人びとも大量におられる。人数が多いのはまだましであ る。もっと当惑するのは、今まで見たことも聞いたこともないような種類の信者さんだっ たり、グループが存在していることだ。私にとって異次元の種類の人びとが多いのには驚 かされる。カトリックというのは、広いものだとつくづく思う。

思い出すのは、パウロのキリストの体のたとえである。「体は一つでも、多くの部分か である(一コリント12・12)」。そしてパウロは、体の一部である足と手、耳や目の間でもめ事を起こすことは無駄だと戒める。目と手、頭と足も互いに排除することは意味がな いと言うのだ。現実の問題として、異質な者を受け止めることはそれほど簡単なことでは ない事実に基づいて、皆が一つのキリストの体になるように呼びかけている。

この勧告は私にとっても大きなチャレンジである。すべての人、特に私から見て理解 が難しい人をどのようにキリストの体の一部として認め、受け入れ、かかわりをもって いくのか。これは、カトリック信者や健常者全員に問われていることかもしれない。カ障 連のメンバーにも問われていることかもしれない。

◇カ障連ホームページ http://homepage3.nifty.com/cadpj/

◇会報「わ」の点字版・テープ版につきましては事務局までお申込みください。

◇カ障運の活動にご理解とご支援をお願いします(同封の振替用紙をご利用ください)。 ゅうびんきょくふりかえこう ざ ぼんごう 郵便局振替口座番号:00100-7-31254 かにゅうしゃめい にほん しょうがいしゃれんらくきょうぎ かい加入者名:日本カトリック障害者連絡協議会

はっこうせきにんしゃ にほん しょうがいしゃれんらくきょう ぎ かいかいちょう 発行責任者:日本カトリック障害者連絡協議会会長 みやなが ひさと

> E-mail: hm.i-loyola@saint.nifty.jp FAX: 072-841-5102

事務局: 〒590-0504 大阪府泉南市信達市場 893-3-711 田中 実 方

12

E-mail: fxmichandeesu61@gmail.com TEL&FAX: 072-482-8953

発行日:2014年7月15日